

笑ってごらん

第 571 号 H. 28. 12. 21 発行

～今日のことば～

そのことは我が胸に成算がある。

やろうと思えば、世に出来ぬことはない。

(坂本龍馬)

感謝道

◇◆15日、創立60周年記念式典を行った。そのオープニングとして「金峰権現太鼓」の皆さんに盛り上げていただいた。以前にも紹介した通り、3年2組森園さんのお父様が主宰されている団体であり、森園さん自身もこれまで様々なイベントで太鼓を叩き笛を吹いているので、彼女の在学中に是非一度本校で演奏していただきたいと切望していた状況。卒業を目前に、ようやく実現した。教職員・保護者を含め約1,800名の観客を前に演奏するのは初めてとあって、大変緊張されながらも元気よく盛り上げていただいた。◆続いて昭和56年当時の学校紹介用ビデオ(当時は16mmフィルムとして作製し、専用の映写機で放映した)の放映があった。記念式典オープニングとあって、音声とのバランスの問題もあり、今回は実際に16mm映写機で映し出した映像をビデオカメラで撮影してDVD化したものを放映。先生方には準備の段階でかなりご苦勞をおかけした。私自身も平成元年入職ゆえ、あの映像を観るのは初めてであった。若かりし頃の父：先代理事長の姿を観ることができ、感慨ひとしおのひとときであった。会場は当時の生徒のブルマ姿にどよめきが生じたが、近年は体操服のスタイルも変わってしまっているので致し方ない反応だろう。◆式典に先立ち、先代理事長をはじめこれまでに亡くなった先生・生徒の御霊に対し黙禱を捧げた。また、早朝より多くの先生方が先代理事長の墓参をしてくださった。ありがたいことである。式典では、「記念合唱」として、合唱部の皆さんに加世田女子高等学校校歌ならびに衛生看護専攻科校歌を披露してもらった。どちらの校歌も永年歌ってきただけに、伴奏が始まると自然に口ずさむことができた。専攻科校歌2番は各式典において実際に歌われることがなかっただけに、歌詞を目に歌っていると、先代理事長が作詞するにあたって込めた想いを感じ、後半は歌えなくなってしまった。生徒の皆さんには現在の校歌を誇りを持って歌って欲しいと切に願う。◇◆創立60周年記念講演会は講師に教育評論家：尾木直樹氏(尾木ママ)を迎え、TV番組の裏話をはじめ興味深い楽しいお話をお聴かせいただいた。会場の雰囲気盛りあがったところで、後半は演題『尾木ママ流 夢をかなえる』に沿った大切なメッセージが次々と繰り出された。「ありのままに今を輝く」、「締め切りは必ず守る」、「敵は自分の中にある」、「己と向き合う力・・・自己決定力を身に付ける」、「自分を好きになること(自己肯定感)が大事」、「人の話はちゃんと聴く」等々。楽しい中にしっかりと数々の「教え」が盛り込まれており、「流石!」と思った。◆この記念式典・講演会をもって創立60周年記念事業を終えた。この一年、それぞれの準備に慌ただしかったが、無事終えることができ、今は「感謝」の一言に尽きる。皆さんは自分自身の目標を達成するため、これからも校名の如くはばたいて行って欲しい。そして、某かの結果を得た時、尾木ママのメッセージにもあった通り「自己達成感」を得られるよう、日々の活動を充実させて欲しい。◇◆翌16日、看護学科全学年が体育館に揃い、実習体験発表会を行った。専門課程1年を除く各学年代表2~3名が自身の実習体験をスピーチ。それぞれに素晴らしい着眼点を持ち、いい実習ができたことを伺い知ることができた。質疑応答の時間には、主に専門課程2年生から、質問のみならず今後の実習で参考にして欲しいことなど具体的なアドバイスもあり、私の目の前の席にいた基礎課程1年生たちは笑顔で先輩の温かさを感じ入っていた。午後、米盛病院看護師山之内千絵様を講師に迎え、『今、わたしたちにできること～国際救援活動を通して～』の演題で講演。「答えは皆の中にある」との話が印象的だった。

